



「中国地域産総研技術セミナー in 島根」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所（産総研）中国センターでは、産総研の研究活動や開発技術をご紹介するとともに、中国地域と産総研の技術的・人的ネットワークを図ることを目的としてセミナーを開催しています。今回は、「人工知能（AI）関連技術」について最新の研究成果をご紹介します。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：平成30年12月3日（月）13時30分より

場 所：テクノアークしまね 4階大会議室

[島根県松江市北陵町1番地 電話：0852-60-5140(島根県産業技術センター)]

主 催：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中国センター、
島根県産業技術センター

後 援：中国経済産業局、(公財)中国地域創造研究センター

(一社)中国地域ニュービジネス協議会、(独)中小企業基盤整備機構中国本部

定 員：50名（参加費無料、定員になり次第、締め切ります）

(敬称略)

開会挨拶(13:30~13:40)

島根県産業技術センター

所長

辰野 恭市

講演1(13:40~14:40)

「将来のものづくりとAIものづくり拠点の紹介」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

エレクトロニクス・製造領域 製造技術研究部門 副研究部門長 加納 誠介

多品種少量生産や労働者不足と言われている中、日本のものづくりはどのようにして発展していけばいいのか。産総研が考える将来のものづくりの姿とそれに向けた取り組みを紹介します。特に2018年度末立ち上げを目指して準備しているAIを活用したものづくりの研究拠点の狙いと概要をお話しします。

————— 休憩 (14:40~14:50) —————

講演 2 (14:50~15:50)

「人工知能研究センターにおける AI 技術活用事例および今後の展開」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

情報・人間工学領域 人工知能研究センター 副研究センター長 谷川 民生

人工知能はバズワードのように世の中で広がっており、その活用が期待されていますが、何でも人工知能に任せられる話ではありません。人でしかできない部分と人工知能が得意な部分があり、現状の人工知能技術をどのように使っていくべきかについて、人工知能研究センターでの研究を通じて紹介します。

講演 3 (15:50~16:50)

「機械学習による異常検出技術とその産業応用」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

情報・人間工学領域 人工知能研究センター 人工知能応用研究チーム
研究チーム長 坂無 英徳

近年、様々なデータを容易に収集できるようになり、膨大なデータから意味のある情報を自動抽出する技術の重要性が増大している。本講演では、社会インフラおよび産業機械の維持管理支援などの分野において、機械学習技術による音響・画像解析に基づく異常検出を試みた研究事例を紹介します。

閉会挨拶 (16:50~17:00)

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中国センター 所長代理 榊 啓二

[申し込み方法、問い合わせ先]

参加者の氏名、所属（企業等）名、電話番号などを記して、電子メール又は FAX にて 11月29日（木）までに下記にお申し込みください。
(いただいた個人情報は当セミナー関連以外に用いることはありません)

担当：産総研 中国センター 大谷、谷本
(広島県東広島市鏡山 3-11-32)

電話：082-420-8245、 FAX：082-420-8281

電子メール：c-renkei_seminar-ml@aist.go.jp

ホームページ：[<https://www.aist.go.jp/chugoku/ja/event/2018fy/1203.html>]



FAX 送信表

送信先: 産業技術総合研究所 中国センター FAX:082-420-8281

中国地域産総研技術セミナー in 島根

申込み締切り: 平成30年11月29日(木)

※団体名			
所在地	〒		
※TEL		FAX	
E-mail			
※ふりがな ※参加者名	所属部署・役職名		
備考			

※は必須項目です。

なお、お送りいただいた個人情報は、本セミナー関連以外には使用しません。